

建設キャリアアップシステム（国土交通省抜粋）

1. 建設キャリアアップシステムとは

建設業が将来にわたって、その重要な役割を果たしていくためには、現場を担う技能労働者（技能者）の高齢化や若者の減少といった構造的な課題への対応を一層推進し、建設業を支える優秀な担い手を確保・育成していく必要があります。

- ・そのためには、個々の技能者が、その有する技能と経験に応じた適正な評価や処遇を受けられる環境を整備することが不可欠です。
- ・建設業に従事する技能者は、他の産業従事者と異なり、様々な事業者の現場で経験を積んでいくため、個々の技能者の能力が統一的に評価されにくく、現場管理や後進の指導など、一定の経験を積んだ技能者が果たしている役割や能力が処遇に反映されにくい環境にあります。
- ・こうしたことから、技能者の現場における就業履歴や保有資格などを、技能者に配布する I C カードを通じ、業界統一のルールでシステムに蓄積することにより、技能者の処遇の改善や技能の研鑽を図ることを目指す「建設キャリアアップシステム」の構築に向け、官民一体で取り組んでいるところです。

2. 建設キャリアアップシステムの概要

○概要

- ・システムの利用に当たり、技能者は、本人情報（住所、氏名等）、社会保険加入状況、建退共手帳の有無、保有資格、研修受講履歴などを登録します。事業者は、商号、所在地、建設業許可情報を登録します。登録により、技能者には、I C カード（キャリアアップカード）が配布されます。
- ・現場を開設した元請事業者は、現場情報（現場名、工事内容等）をシステムに登録し、技能者は現場入場の際、現場に設置されたカードリーダー等でキャリアアップカードを読み取ることで、「誰が」「いつ」「どの現場で」「どのような作業に」従事したのかといった個々の技能者の就業履歴がシステムに蓄積される仕組みとなっています。

○システム利用によるメリット

・現場経験や保有資格が業界統一のルールでシステムに蓄積されることから、十分な経験を積み、技能の向上に努める技能者が適正に評価され、それを通じて処遇の改善につながる環境を整えていきます。

・また、建設業退職金共済制度における証紙の貼付状況が確実かつ容易になるとともに、技能者・事業者がそれぞれ就業実績や資格取得などの状況を確認することを通して、更なる技能の研鑽や資格の取得につなげていくことが可能になります。

・さらに、建設業を一旦離れ再入職する際に、離職以前に習得した資格・研修や現場経験を客観的に証明できるといった活用が期待されます。

・技能者を雇用する専門工事業は、雇用する技能者の水準を客観的に把握できるとともに、その施工力をアピールすることが可能となります。人材の育成に努め、優秀な技能者を抱える専門工事業者は、これを発注者や元請企業にアピールすることにより、受注機会の拡大につなげていくことが期待できます。

・現場を管理する元請企業は、システムを活用し、社会保険加入状況の確認など、現場管理の効率化、現場のコンプライアンスやトレーサビリティの確保を図ることが期待できます。また、優秀な人材を抱える専門工事業者の選定に活用できるほか、顧客に対して施行に携わる技能者のスキルをアピールするといった活用も可能となります。既に独自の就労履歴システムを運用している事業者においては、建設キャリアアップシステムとの連携により、システムの拡充や合理化を図ることも可能です。

○システムを活用した政策展開

・システムに蓄積された個々の技能者の就業実績などを活用し、技能や職歴に応じた統一的な能力評価基準の策定等を検討したいと考えています。

・さらに、技能者の能力評価基準の策定を通じて、将来的には専門工事業者の評価にもつなげていきたいと考えています。

○システムの運用開始に向けて

・建設キャリアアップシステムの運営主体である（一財）建設業振興基金において、平成30年秋の運用開始を目指してシステム開発等を進めているところです。

建設キャリアアップシステムの利用手順

① システムの利用にあたっての登録

技能者

○インターネット、郵送、窓口のいずれかで申請
※所属事業者等による代行申請可

インターネット申請の場合、
必要事項をPC等で入力

入力・送信 → 建設業
振興基金

建設業
振興基金
申請内容確認
OK

カード交付

事業者

○インターネット、郵送、窓口のいずれかで申請

インターネット
で申請

建設業
振興基金

郵送で申

② 現場におけるシステムの利用

元請事業者

○現場開設時に現場情報を登録

現場名	〇△ビル建設工事
住所	〇県△市〇町2丁目
元請名	〇×建設工業
工事内容	商業施設 店舗 新築工事

送信 → 建設業
振興基金

○現場にカードリーダーを用意

カードリーダー
設置

技能者

○現場入場時にカードをカードリーダーで
読み取り

ピッ!

建設業キャリアアップカード
XXXX
XXXX
建設 太郎

さまざまなタイプのカード
リーダーが利用可能。

③ システム利用の効果

技能者

○就業実績がシステムに蓄積される

建設太郎 / 技能者就業履歴			
現場名	就業年月	就業日数	立場
〇〇ビル	2016.06	10日	職長
△△マンション	2016.06	4日	作業責任者
□□ビル	2016.06	8日	
合計		22日	

【活用例1】

- ・自身の経歴等が簡易に一覧できるようになり、更なる技能の研鑽につなげていくことができる。
- ・再入職する際に、自身の技能や就業履歴を証明できる。
- ・将来的にシステムに蓄積されたデータを基に統一的な技能者の能力評価基準や技能・職歴などに応じたきめ細かな賃金体系の検討を進める（労務単価への反映も視野）

元請事業者・上下請事業者

○技能者本人が現場に入場中（工事期間中）
は技能者情報が閲覧可能

現場名	発注者	技能者
Aビル	〇×建設	建設 次郎
B道路	〇×建設	建設 太郎
C住宅	〇×建設	建設 三郎